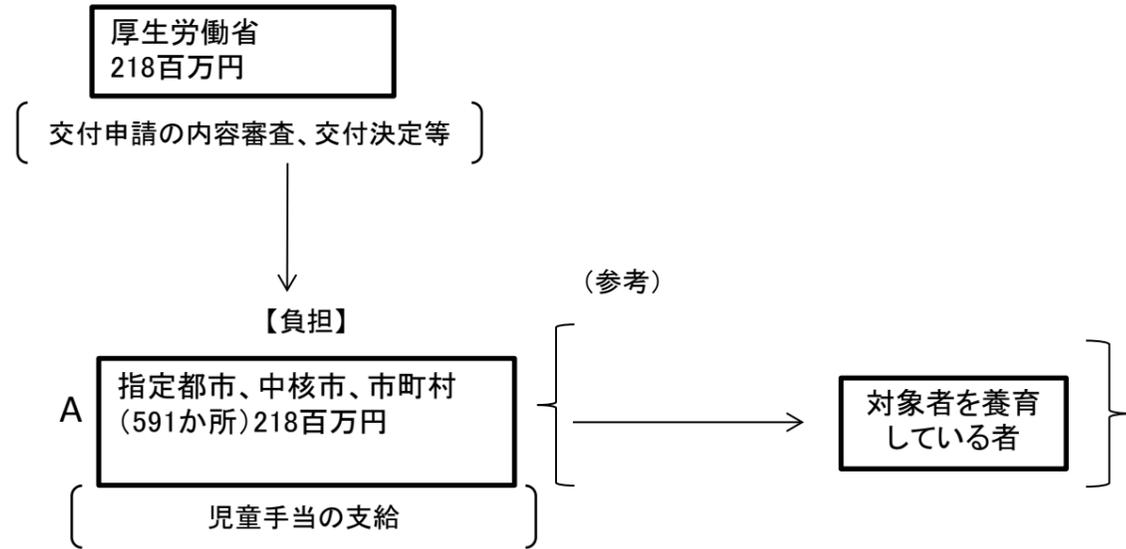


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	児童手当交付金に必要な経費		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和46年度 ※平成24年度以降は、「子どものための金銭の給付交付金に必要な経費」で対応		担当課室	育成環境課		杉上 春彦		
会計区分	年金特別会計子どものための金銭の給付勘定		施策名	Ⅲ-1-7 子ども手当の支給により、子ども一人ひとりの育ちを支援する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第19条 児童手当法施行令第5条		関係する計画、通知等	児童手当法第19条に規定する交付金の取扱いについて (厚生事務次官通知 昭47.1.20厚生省発児第2号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会をになう児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	対象者:小学校修了までの児童 給付の内容:上記対象者を養育する者に対し、以下の区分により支給 ①0~3歳未満 1人当たり10,000円 ②3歳~小学校修了まで・第1子、第2子 1人当たり5,000円 ・第3子以降 1人当たり10,000円 ○実施主体:指定都市、中核市、市町村(公務員は所属庁で実施) ○補助率:①被用者・0~3歳未満(特例給付を除く) 1/10 ・3歳~小学校修了前 1/3 ②非被用者・0~3歳未満 1/3 ・3歳~小学校修了前 1/3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	429,604	70,675	1,655			
		補正予算						
		繰越し等		2,265				
		計	429,604	72,940	1,655			
	執行額	421,549	72,939	218				
執行率(%)	98%	100%	13%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	児童手当は、支給要件を満たす児童を養育する者に支給するものであるため、成果目標を示すことはできない。		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	児童手当支給対象児童数 (公務員を除く数)		活動実績 (当初見込み)	人数	11,642,426	—	—	—
						( — )	( — )	
単位当たりコスト	-		算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
				平成24年度以降は、子どものための金銭の給付交付金に必要な経費で対応。				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	少子化が進展する中で、安心して子育てをできる環境を整備することは喫緊の課題であり、子育て家庭からは経済面での支援を求める声も強いことから、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	少子化が進展する中で、安心して子育てをできる環境を整備することは喫緊の課題であり、子育て家庭からは経済面での支援を求める声も強いことから、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業は、児童手当の国庫負担分を市町村に対して交付するものであり、費目・使途は事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	子育て家庭からは経済面での支援を求める声も強いことから、現金給付制度である手当は、実効性の高い手段である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
		※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	手当が支給対象者に確実に支給されることにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会をにう児童の健全な育成及び資質の向上に資することが見込まれる。
点検結果	本事業は、児童手当法に基づき必要な事業であるが、平成23年度に児童手当法が改正され、平成24年4月より新たな児童手当制度が施行されたことに伴い、平成24年度予算以降は、子どものための金銭の給付交付金に必要な経費で対応。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			—
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0960	平成23年行政事業レビュー	0830

※平成23年度実績を記入



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.山口市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金	児童手当交付金に必要な経費	16			
計		16	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	山口市	児童手当の支給	16		
2	札幌市	児童手当の支給	14		
3	周南市	児童手当の支給	12		
4	下関市	児童手当の支給	12		
5	宇部市	児童手当の支給	11		
6	防府市	児童手当の支給	10		
7	岩国市	児童手当の支給	9		
8	山陽小野田市	児童手当の支給	5		
9	下松市	児童手当の支給	4		
10	光市	児童手当の支給	3		